



ひとりだち

令和7年度
下羽栗小学校
学校だより
R7. 6. 20

がんばっていると言える自分に

「今、がんばっていることはありますか。自分でがんばりたい、と思うことはありますか。」
これは、6月22日に行われる笠松町少年の主張大会に下羽栗小学校の代表として参加する6年生のHさんの言葉です。「私にはあります。大好きな音楽にかかわる二つのこと。一つは、学校で取り組んでいる鼓笛隊の活動。もう一つは、4歳から続けているピアノです。」Hさんは、言います。「私は、いつも『目標をもってがんばっている自分』になりたいと思っています。失敗したり、思うような結果が出なかったりすることがあっても、どうしたらうまくなれるのか考えて、努力することを大事にしたいと思っています。」「なぜなら、私は『がんばっていると言える自分』が好きだからです。」と。

4月の始業式に、学校の教育目標である『ひとりだちのできる子』の姿として、子どもたちに三つ話をしました。その中の一つが、Hさんの姿に重なります。

「わたしは、ぼくは、こんな自分になりたい」「そのためにこんなことをがんばっています」と、いつも自分の夢や目標の実現に向かって、よく考え、最後は自分で決めて、行動できる子

現在2年生のMさんは、昨年度、1年生の時に学校からWEBで応募したタイピングコンテストで入賞しました。Mさんは、「他の勉強は好きじゃないけど…、タブレットは好き。タイピングは楽しい。」と話します。担任の先生も「Mさんはタイピングで賞をもらってから、自分に自信がもてたようです。」と言われます。2年生になると、タイピングの達人が教室にも何人か表れてきて、タイピングに難しさを感じることもあるそうです。それでもMさんは、やっぱりタブレットを使ってタイピングをすることが大好きで、「ぼくは、タイピングをがんばっています。」と笑顔で話します。

5年生のOさんは、ボランティアをがんばっています。今年度、ボランティア手帳を全校で一番初めに終えたOさん。担任の先生は「Oさんのすごいところは、みんなが嫌がりそうなごみも、さっと拾うところ。褒められたいからボランティアをしているのではなく、誰かのためになりたくて自分ができるところを探しているのがOさんです。」と話されました。あのボランティア手帳は、Oさんにとっては、がんばった自分の証なのだなと思いました。

『がんばっていると言える自分』を好きになること。自信をもつこと。喜びを感じることに。自己肯定感を高めることは、子どもたちが将来自立し、しあわせに生きていくのに、大切なことだと考えます。

子どもたち一人一人が、自分で見つけた好きなことや自分で決めたことをがんばっていけるように、私たちも応援していきたいと思います。

写真：がんばった運動会



※学校の様子をHPで紹介しています。

「下羽栗小学校」で検索してご覧ください。

行事予定 7月

1日(火) 聖徳大実践観察 鼓笛
スクールカウンセラー来校
2日(水) 4年社会見学(美濃和紙の里)
くりっ子遊び くりっ子タイム
委員会
7日(月) 個人懇談①(4時間授業)
8日(火) 個人懇談②(4時間授業)
9日(水) くりっ子遊び クラブ
10日(木) 個人懇談③(4時間授業)
スクールカウンセラー来校

11日(金) 個人懇談④(4時間授業)
15日(火) 委員会
16日(水) 水難事故防止教室
(5・6年生)
大掃除
18日(金) 前期前半終了
21日(月)
～8月24日(日) 夏休み
8月25日(月)
夏休み明け学校再開



写真：くりの実・1・2年さつまいもの苗植え